

局長
課長
司令
寺
赤
第十
院

六
三三
受
了始
〇〇二
三〇三
〇五五
八〇三
電一一
一
人
田
事作

作取特別緊急



● 七 滑 機
● 一 航空艦隊、中部太平洋方面艦隊、六艦隊各戸・先遣部隊



機密第二一二二三八番電

聯合艦隊電令作第一九七號

第七潜水部隊指揮官ハ威ルベク速ニ附近所在ノ大型潜水艦一隻ヲ大

宮島ニ派遣シ飛行機搭乗員組力多數ヲ内海西部(大分航空基地)ニ

輸送セシムベシ。

通一五七四八

留一五七一七(日) 海軍



緊急

六三三

受信開始 〇四四三
〇五一〇

丁〇五二二 電一一二二九

共

符 人 事 作

● 先遣部隊

● 聯合艦隊中、一航空艦隊中

機密

機密第二二〇一五五番電

第七潜水部隊電令作第二九號

例四一八二四日（豫日二五日）大宮港（第二案カイタツク海第三案アガニヤ海）ニ至リ搭乗員約一〇〇名ヲ收容シ大分海軍航空隊ニ輸送スベシ實施ノ細目ハ後合ス

通一五八六六 登二（八九九五）四通

海軍

局長

課長

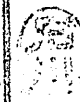
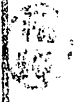
局長

事務

事務

第...課

九奉



第十信課

大 三三三三三〇一五 丁二二三〇 電二一五〇七

東海軍司令部

共



符



聯合艦隊司令部・中部太平洋方面艦隊司令部

大 海 參 一 部



機密第三二一八〇五番



陸 四ノ多摩長七海軍司令部

佐賀百一號ノ在リテ司令以下約一〇〇名ノ兵士ノ増殖ニ着手シテ

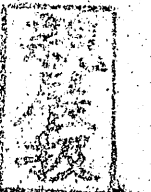
此ノ際ニ兵士ノ入ルルヲ有利ト認メテ

縮 六ノ兵士

第一六三八一 第十一二八九九五(四) 四週報

海軍

局長 課長 局員 寺林 九川 深澤



六 三三
一五
三〇
〇〇
一八
八
〇

● 大官廳第一課第二分課長(寺林)
● 第一課長(九川)

昭和二十二年一月二〇八番

事務課長十一號大官廳第一課長(寺林)在任中
一、事務課長(寺林)事務課長(寺林)事務課長(寺林)
二、事務課長(寺林)事務課長(寺林)事務課長(寺林)
三、事務課長(寺林)事務課長(寺林)事務課長(寺林)
四、事務課長(寺林)事務課長(寺林)事務課長(寺林)
五、事務課長(寺林)事務課長(寺林)事務課長(寺林)
六、事務課長(寺林)事務課長(寺林)事務課長(寺林)
七、事務課長(寺林)事務課長(寺林)事務課長(寺林)
八、事務課長(寺林)事務課長(寺林)事務課長(寺林)
九、事務課長(寺林)事務課長(寺林)事務課長(寺林)
十、事務課長(寺林)事務課長(寺林)事務課長(寺林)

昭和二十二年一月二〇八番

皇
軍
令

大正十一年三月二十一日
陸軍部令
第一〇七四号
陸軍部令
第一〇七四号
陸軍部令
第一〇七四号

陸軍部令
第一〇七四号
陸軍部令
第一〇七四号

陸軍部令
第一〇七四号

陸軍部令
第一〇七四号



陸軍部令
第一〇七四号

陸軍部令
第一〇七四号

陸軍部令
第一〇七四号

陸軍部令
第一〇七四号

陸軍部令
第一〇七四号

軍

十
部
照

人
3
Y



陸軍省
陸軍省
陸軍省
陸軍省
陸軍省
陸軍省
陸軍省
陸軍省
陸軍省
陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

● 軍令部 陸軍省
● 陸軍省 陸軍省
● 陸軍省 陸軍省
● 陸軍省 陸軍省
● 陸軍省 陸軍省
● 陸軍省 陸軍省
● 陸軍省 陸軍省
● 陸軍省 陸軍省
● 陸軍省 陸軍省
● 陸軍省 陸軍省

機密 第三八二一〇九番 第六分

ニ據テ出陣キル艦船ノ測定位置極秘シテ示セテ、十四日晨五時ニ
六日當該艦隊部隊ハ該方面海面上兵力ノ大部ト認ム
同北方方面ニ對スル潜水艦増強ハ五月中旬以前無ク、北方ニ於テ
該潜水艦ハ何レモ在AKニ潜水艦隊直接指揮シテ、昨年
夏ノ如キ北方部隊ノ直接指揮下ニテ、各艦船艦隊發射信標モ

第三〇六一、三〇六二、三〇六三、三〇六四、三〇六五、三〇六六、三〇六七、三〇六八、三〇六九、三〇七〇、三〇七一、三〇七二、三〇七三、三〇七四、三〇七五、三〇七六、三〇七七、三〇七八、三〇七九、三〇八〇、三〇八一、三〇八二、三〇八三、三〇八四、三〇八五、三〇八六、三〇八七、三〇八八、三〇八九、三〇九〇、三〇九一、三〇九二、三〇九三、三〇九四、三〇九五、三〇九六、三〇九七、三〇九八、三〇九九、三〇一〇〇



第十信 陸軍省

附
十
五
日

(1) 航空機動隊

(1) 瀋陽上野原ノ動隊ハ一五日前後及二十三日以降機動隊ヲ遣アリシ

テ當隊兵力ハ主要ナル指揮官ノ回離シアル外隊本隊等機動ナリ

(2) 陸軍兵力ニ關シテハ關係ノ通令等來電ヲテ機動隊ヲ遣アリシ方知シ

三貴方面ヨリ見テハ中絶方面機動隊

(3) P.S.A 方面作戦部隊ハ西東方面ト經テテ機動隊ナル關係ヲ有シアル

ト北方トノ關係ハ薄シ

(4) 十五日頃ヨリ活潑化セリ 同方面關係ハ二十五日頃ヨリ低調ヲ示

シテ

一 電信線 本電線ノ一、二、三、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百

一 電信線 本電線ノ一、二、三、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百

第
十
倍
深
限

海
軍
部

6. 20 18

第一課長 局員

福

工勇

第十信課

大 三〇 受領一五〇五九

舞了六三〇 電一五〇五 運本房人事務

共 符

- 一 航 空 監 査 官
- 省 副 官・各 領 守 府

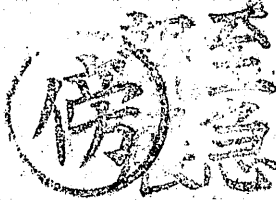
秘 録 第三〇〇七五八番電

第一航空監査副官

六月初頭以降到達せず 經由文書ハ不達亡失ノ算大ナルニ付重要ナルモノハ電報處理相成度。

通二一四八五 呂一? 一(九〇四五) 呂航空基地 海 軍

2. 1. 4



一 陸軍 一八三〇

陸軍 一八三〇 陸軍 一八三〇 陸軍 一八三〇

● 先達部

● 聯合部

陸軍 一八三〇 陸軍 一八三〇

陸軍 一八三〇 陸軍 一八三〇

陸軍 一八三〇

三十九年

陸軍 一八三〇 陸軍 一八三〇 陸軍 一八三〇 陸軍 一八三〇

陸軍 一八三〇 陸軍 一八三〇

陸軍 一八三〇 陸軍 一八三〇

陸軍 一八三〇

陸軍 一八三〇 陸軍 一八三〇

海

軍

第十信線

廣川上川...
 廣川上川...
 廣川上川...
 廣川上川...
 廣川上川...
 廣川上川...

- 所屬...
 ○所屬...
 ○所屬...
 ○所屬...

第拾倍

海

10

七五

我艦隊の五二六〇番電

發 1AF 参謀長

備参謀長ニ伝ヘラレ度

貴電第一五八號受領御苦衷真ニ推察ニ難カラズ

然レ當方モ月餘、我斗ニ兵力ヲ消耗シ當方面ニ使用

シ得ル最後、我斗我四枚ヲ以テ一九〇〇頃、サイパンノ敵

ヲ攻密セシメラルル見當トサレ度

庶幾クバ最後ノ敵斗ヲ以テ皇軍ノ真髓ヲ發揮セラル

事ヲ祈ル

終

海軍

(文部省)

3. 22日

軍事高等 第一課長

第電十信課

七三三

陸海〇〇九三〇〇

陸海一〇一五

陸海〇〇九三〇〇

陸海一〇一五

作軍務局長

聯合部

第五十四回審議

陸海軍機

機密第二一一七五六番

二分ノ一二

陸海軍三軍司令部

東京

陸軍中今二十一日早朝東主力部隊陸海軍約五〇ヲ以テ明石西洋用一都

一陸海軍約三〇ヲ以テ昭和橋ニ上陸ヲ開始セリ所在海軍守備隊

ハ散退ナル必勝ノ信心ハ下ニ之ト交戦中ナルモ戦局ノ急變ハ重大懸案

ハシテ今一方的ナル敵ノ制空隊下ニ於ケル孤島ノ防禦力ニ懸念

取調例ノ示ス如ク又一方サイパンノ例ニ依レバ敵ヲ上陸戦國ノ為其

ノ空海軍力ヲ拘束セラレアル點ニ懸念ヲ承ズベキ好機アルコトハ事實ナ

通三三〇、三三八一

留A一四四九七、五七〇四番旗

軍付

予今ヤキ國邊ハ百數十里ノ各處に兵船ヲ置キテ此ノ國邊ト少數艦ノ
 東艦少數艦ノ東艦等ヲ置キテ此ノ國邊ト少數艦ノ東艦少數艦ノ東艦等
 アリ此國邊ト少數艦ノ東艦等アリ此國邊ト少數艦ノ東艦等アリ此國邊
 ノ守備艦兵ニ兵ヲ置キテ此國邊ト少數艦ノ東艦等アリ此國邊ト少數艦
 守備艦兵ニ兵ヲ置キテ此國邊ト少數艦ノ東艦等アリ此國邊ト少數艦
 又兵立置キテ此國邊ト少數艦ノ東艦等アリ此國邊ト少數艦ノ東艦等
 事任テ此國邊ト少數艦ノ東艦等アリ此國邊ト少數艦ノ東艦等アリ此
 國邊ト少數艦ノ東艦等アリ此國邊ト少數艦ノ東艦等アリ此國邊ト少數
 艦ト少數艦ノ東艦等アリ此國邊ト少數艦ノ東艦等アリ此國邊ト少數艦
 本國軍艦

第十信

海軍

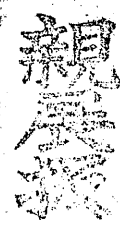
七二三

愛蔵版 〇〇九七五〇〇

第一一〇〇〇

愛蔵版 〇〇九九五五七四

作・藤本



東京通信版

第五十四巻

第二二一九二五番

三分ノ一、三

海軍文庫

海軍文庫第二四五號

海軍文庫第二四五號 海軍文庫第二四五號 海軍文庫第二四五號

一、海軍防衛ニ於ケル水際陣地ハ陣地其レ自体ハ本攻撃ニ對シ必ズシテ

強性シナラザルモ敵ヲシテ本攻撃開始後セシムル迄ニ相繼ぎ退却ノ持

久チ可能ナラシムモノニシテ之ヲクシテハ敵艦ヲトシテ上陸優勢ナ

ル敵ニ對シ防禦戰闘成立ノ可能性ナシ水際陣地ニ準接スル深アル

反照點ノ準備ヲ必要トスルモノナリ但シ重要點ト深トナキ一連ノ

第一二七三〇・一二七五九・一二七八三 第一日ル七(四四九七、海五〇四通)

後進の地... (The text is extremely faint and difficult to decipher, but appears to be a list or a series of short paragraphs.)

海軍

第拾五課

其時、東軍の軍勢、先づ國府津の方面に集結し、西軍は
 此處より國府津下三ヶ村、新多軍人、國府津方面に退き、
 西軍の軍勢、此處より國府津の方面に集結す。其時、
 西軍は國府津の方面に集結す。其時、西軍は國府津の
 方面に集結す。其時、西軍は國府津の方面に集結す。
 其時、西軍は國府津の方面に集結す。其時、西軍は國府津
 の方面に集結す。其時、西軍は國府津の方面に集結す。
 其時、西軍は國府津の方面に集結す。其時、西軍は國府津
 の方面に集結す。其時、西軍は國府津の方面に集結す。
 其時、西軍は國府津の方面に集結す。其時、西軍は國府津
 の方面に集結す。其時、西軍は國府津の方面に集結す。
 其時、西軍は國府津の方面に集結す。其時、西軍は國府津
 の方面に集結す。其時、西軍は國府津の方面に集結す。
 其時、西軍は國府津の方面に集結す。其時、西軍は國府津
 の方面に集結す。其時、西軍は國府津の方面に集結す。

海軍

19. 3. 22 6

9

八

受格 〇上五〇 談了 一二〇〇 (〇八八四) 特階

◎第四艦隊司令長官

聯合艦隊司令長官

機密 第一〇八三〇番電

聯合艦隊機密第一〇八三〇番電、御趣旨

御徹底シテト認ムル高此際各方面、敵ニ対シ

一回ニテ航空機隊水艦等、依ル奇襲ヲ實施セリ

此レ今後陸上部隊ニ與ル精神的效果大ナル

モトトモテ

通

A特

正九九〇 449

萩 (海) (高橋) (軍)

香

海軍省

7. 22日

入庫局長

第二課長

局員

局長

局長

局長

局長

局長

局長

親展

三三

電話一〇三〇〇

電話一〇三〇〇

電話一〇三〇〇

電話一〇三〇〇

特種郵便

大官局第一航空班

大 海・聯合艦隊口・五等海軍艦隊等。二連隊部隊△内南洋方面部隊

増號

電話第二二〇九三〇番

一昨夜昭和陸軍艦隊ノ夜襲ハ敵艦ノヲ優勢ニシテ成功ニ至ラザリ
シモノノ如シ

二敵ノ第一線ハ本朝〇八三〇線本官領ヲ午馬ノ本本附近ニ進出シアリ
三當該地陸軍隊ハ好機比ノ敵ニ對シ攻撃開始ノ豫定。

第一二三三三三 十一一八一七九九〇(四)海軍

17

7. 130

親書表
作取緊急

七 二三

受領了
〇九二七
二〇二五

〇九五八〇七

本階

聯合艦隊司令部 (東通)

五 四 書

通符第二三〇四三〇番電 二分ノ二

海軍省部長

海軍省副部長

一、前日ハ昨二十一日夜主力ヲ以テ夜襲ヲ決行セシモ見晴岬附近ニ大隊

ノ外大ナル成果ヲ得ズ現在見晴岬東側三又路一ハヲサオ高地一淺間

海岸南一・五軒閉鎖曲線高地線ヲ確保留後ノ攻撃準備中敵陣地正面

ニ於テモ昨二十一日二二三〇夜襲セルモ成否不明

二、敵ハ我本田附近陣地ノ核心ヲ一遂ニ衝カントシ本二十二日依然淺間

通一二七六・一二八一六

電報ル一五七(八九九五)四通致

海

軍



第...課

解正面ニ重撃ヲ指向シ上陸シツツアリ明石以東ニハ二十二日夕迄敵ノ上陸ヲ見ズ

三笠岡ハ敵機ノ跳梁運使以上ニシテ陸面射撃亦熾烈ヲ極メ我ガ軍ノ行動至難ナルヲ以テ守備隊ハ夜間及錯雑無段難地等ニ於テ主トシテ奮勇果斷ニヨリ成果ヲ納メアリ

歩兵三八聯隊ハ二十一日ノ損傷比較的大ナリシモ其ノ他ハ大ナル損傷無ク一戦ニ士氣益メテ旺盛ナリ

第11聯隊

海

軍

(日)

7. 19 月

現報

作

暗號

二二
一〇一〇〇
一三三〇
〇九五〇八一
〇九六〇八一
本報

大澤第一

大澤第二

大澤第三

第五十四回

二二〇〇〇〇五五番
二分ノ一

本報一週三回出版

本報一週三回出版

本報一週三回出版

本報一週三回出版

本報一週三回出版

本報一週三回出版

本報一週三回出版

本報一週三回出版

本資料は昭和五年
梅野五郎能太郎の
一頁を写す

昭和五年八月五日

梅野五郎

記

第十信

三、彈藥二五耗一銃一萬發高角砲一門一千發最小限必要ナリ
 三、二十五耗一銃ノ打針補用一銃一〇本以上ヲ要ス約一ヶ月間ニ打針折
 損修理延テ約一三〇〇本新製約一〇〇本ニ及ビ打針ノ先端ヲ改造
 屈曲部ヲ去リ圓スニテ下ニ以テ結果極メテ良好ナリ
 四、防空砲臺ノ陣地ハ半土中式最適射角一五度迄ヲ犧牲トスルモ掩体
 高麗國ニスルヲ要ス

海軍

七二二

陸軍第一三三〇

陸一三四一

電〇九九五九四二

本政

緊急親展報



● 軍令部一部・聯合艦隊司令部
 ● 陸政本部總務部

● 五 四 警 備 隊

後符第二三〇五〇四番電 二分ノマニ

陸軍連報第二類

水面砲臺ハ大型砲艇ノ直撃ニ耐フル施設ナキ限り上陸戦同時迄
 維持スルハ至難ノ現状ニヨリ平射砲 短二〇型砲ヨリ寧ろ少クトモ
 毛敵舟艇大型戦車ノ装甲ヲ貫徹シ得ル大口徑機砲數百門ヲアツ
 キ三米以上ノ徹キンコンクリートノ掩護ニ收ム數段ノ深層配備トシ
 テ海岸線ニ配備スルヲ可ト認ム

通一二七九六一三八四三

トト座(一七七九〇)C(四通)

海

軍

第拾番

第十信課

二 敵ノ艦砲射撃ヲ射ズル手段トシテ水中發射管ヲ多數海岸ニ配置スル
 三 系統ノ魚雷使用射撃ノ遠隔管制可能トセバ水面砲臺ニ基ニ據ルモ
 ノト認ム一敵ハ停止シテ砲臺スルヲ例トス
 三 防空砲臺ハ水面砲臺陸戰隊陣地等ヲモ防護シ得ル如ク多數裝備スルヲ
 要ス
 四 有線「ケーブル」及主要自動車道路ハ絶對的ニ海岸線ヲ避架設スル
 ヲ要ス

海軍

29

7. 23日

13

13

電信

七二三

電話 〇九八四〇

電話 〇九一二

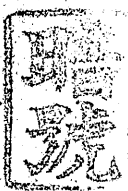
電話 〇九五三五

特 略

海軍

聯合艦隊司令部

大官長第一號空基誌



機密第二三〇七二四番

大官長第一號行機密第二三〇七二四番
ハ通知ニシテ其ノ決意ヲ壯クシ勇戰以テ奮然ト強キ奮闘ヲ望ム

第一二八〇〇

十一月一日

海軍

29

19.7.28 日

七二四

發一航空艦隊口

機密第一四〇六五〇番電

〇五四〇以後「ニア」ニ對スル敵、砲爆雷熾烈ニシテ回斷ナシ
 多數煙彈ヲ使用島、西側薄煙ニ覆ハレ見送シ利カズ〇五四五
 敵上陸用舟艇群數十隻島、北西ヲ南下中敵上陸ノ氣配濃
 厚ナリ 敵上陸ノ場合島司令部ハ羅ソウ山地区ニ在リテ死守セ
 ントス
 陣員一同士氣極メテ旺盛ナリ

(外交部納)

海軍

25

皇太子御親展

七二五

電一〇六六一

特略

〇

親展

● 備 部 隊 長

● 参 謀 總 長
● 軍 令 部 總 長



参 電 第 二 八 一 號

備 電 第 二 五 一 號 關 聯

二 十 五 日 總 攻 略 ニ 關 ス ル 會 官 ノ 決 心 承 知 ヲ リ

自 二 天 磯 ニ 進 ス ベ シ

會 官 國 外 ノ 重 寶 ヲ 拜 ヲ ラ レ タ 以 來 日 米 決 戦 ノ 焦 點 ニ 於 テ 有 ス ル 困 難
ヲ 克 服 シ テ 敵 ニ 一 大 打 撃 ヲ 與 ヘ 其 ノ 陸 下 將 兵 亦 勇 戰 敢 闘 克 少 皇 軍 ノ
真 意 ヲ 發 揚 サ リ 厚 夕 其 ノ 功 ヲ 俸 ト シ 其 ノ 勞 ヲ 酬 ス 而 シ テ 國 軍 全 體 ノ

通 電 二 六 〇 二 四 三 七 〇 二 四 二 八 〇 二 四 二 九 〇 二 四 三 〇

海 軍

第 十 倍 課 課

腹力ハ貴軍ノ健闘ヲ支援シ若クハ之ヲ據點トスル攻撃作戰ヲ直チニ
 實施シ得ザリシヲ遺憾トシ在リ
 貴軍現在迄ニ於ケル勇戦健闘ハ國軍全般ノ作戰指導等ニ比律賓、南
 西諸島方面ニ於ケル作戰準備ノ促進ニ資與ナル所絶大ニシテ貴軍
 ガ今次總攻撃豫期ノ成果ヲ得ザル場合ニ於テモ更ニ隱忍持久勉メテ
 敵腹力ノ擊退ヲ圖ルト共ニ成ル可ク長ク「マリアナ」方面要域ヲ確
 保スルハ愈々國軍全般作戰ノ遂行ヲ容易ナラシムルモノナルヲ以テ
 貴方面今後ノ作戰指導上十分留意相成度。

電信課
 第十課

天

七月二十五日

支隊 〇七〇三

丁 〇九〇六

第一 〇〇三三四八

參本 〇〇

東 運 聯合隊隊員

五 區 警 備 隊

陸 軍 機

支 隊 二 四 二 〇 四 五 番 屋

二 分 ノ 二 三

本 隊 隊 長

支 隊 隊 長

海 陸 警 備 隊 〇 〇 長 官

支 隊 隊 員 二 五 〇 號

支 隊 隊 員 二 四 〇 號

支 隊 隊 員 二 三 〇 〇 號

支 隊 隊 員 二 二 〇 〇 號

支 隊 隊 員 二 一 〇 〇 號

第十信標

接獲ハ敵ヲ退却スルノ企圖ヲ有ス

三、第一マ地区ハ我軍司令官ハ成ルベク多クノ兵力ヲ以テ速ニ見破ル

四、陣間ニ上陸セム敵ニ對シテ斷乎決戦ヲモトメテ之ヲ退却スベシク

三、軍司令官

通電先 曾 總長

第十信課

(終)

海軍

人事

七二五

受領一三四五

丁一四三〇

一〇五二八 陸海軍

特別緊急

視察

共

符

局長

課長

局員

大

陸

航空本部 西空本部

暗号

機密第二五一二二五番電

二分ノ二

三今天三一軍司令部ノ下ニ屬ス陸軍部隊ト協同ノ作戦ヲ實施シタ
ルニ鑑ミ皇國ノ兵制ハ將來陸海ノ特殊航空基地ノ他統一同規トナス
可ト認メ又特ニ基地航空部隊編成假兵タン等行動力ニ便ナル如
ク簡便化スルヲ要ス

（電信課註 本電其ノ一既既布）

第一三九七二 登十一（一七九九〇）四通

海軍

第十部課

親展扱

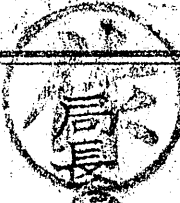
七二七

〇七五〇七

一八一七 電一三三三

本 贈

第十課



暗號

機密第二七〇四〇〇番

郵政省郵政局長 櫻井 謙吉

一航空機隊



テニアン機隊連戦其ノ六一二十六日〇四〇〇）
 二十五日〇六〇〇聯合部隊地区ヲ繼ソウ山ヨリ「カヨリナス」ニ機隊
 守備隊本部ヲ「マルボ」ニ移轉
 本日ノ敵ノ進軍ハ緩慢ニシテ其ノ先頭ハ概ネ繼ソウ山ノ東西線附近
 ニアルモノノ如ク重砲火煙霧ノ射角向ハ其ノ南方附近ニ集中セリ
 我ガ軍ハ兵力ヲ其ノ附近「サバネタス」「マルボ」北方及テニアン
 テウ北方ニ陣地ヲ構築敵ヲ攻撃セントス

一四九八九
 トトオ一八九九五
 一四九
 再